

## 職業能力評価基準(広告業)レベル区分の考え

レベル	レベル区分の目安
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大規模組織の管理・監督者(シニア・マネジャー)であり、経営方針に基づいて担当部門の中期・単年度計画を立案し、経営者的な視点より統括する組織の計画達成を図るための業務を遂行するために必要な能力水準。</li><li>・ 会社を代表するスペシャリストとして、担当分野において極めて高度な専門性を持っていると社内外に認知される能力水準。</li></ul>
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 小規模組織の管理・監督者(マネジャー)であり、経営方針に基づいた担当組織の中期・単年度計画を立案し、関係者との折衝・調整を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準。</li><li>・ スペシャリストとして、担当分野において高度な専門性を持っていると社内に認知される能力水準。</li></ul>
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実務の中心メンバー(シニア・スタッフ)として、担当職務に創意工夫を凝らし、自ら判断・改善・提案を行いながら、必要に応じて小規模グループを編成・運営し、職務を遂行するために必要な能力水準。</li></ul>
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 実務担当(スタッフ)として、上司の指示・支援を受けながら、担当する標準的な業務に改善・工夫を加え、確実に遂行するために必要な能力水準。</li></ul>

# 広告業におけるキャリア形成の例

